

# かみのやま

市議会だより

第 231 号 令和 6 年 11 月 1 日 発行

— 9 月 定例会 —

## 見て!手をつなげたよ♪

かしのき幼稚園・お日さまでは、日本で初めて保育・教育プログラムに専門講師によるバランスボールを取り入れています。体幹や神経系統の発達だけでなく、免疫力アップにも効果があるそうです。

題字：かしのき幼稚園・お日さま

ひまわり組 ほんだ りく  
本多 莉玖さん

審議日程

9月4日(水)	本会議 〔会期日程の決定、市長提出議案の提案理由説明、特別委員会（予算・決算）の設置、議案・請願の付託等〕
8日(日)	本会議〔一般質問〕
10日(火)	予算特別委員会〔補正予算の審査〕
11日(水) 12日(木)	常任委員会 〔付託議案・請願の審査〕
13日(金) 17日(火)	決算特別委員会 〔令和5年度各会計決算の審査〕
24日(火)	本会議 〔各委員長の審査結果報告、市長提出議案の提案理由説明（追加議案）、採決〕

第541回定例会は、9月4日から24日までの会期で開かれました。

4日の本会議では、議案15件が上程され、各委員会に付託したほか、人事案2件、契約議案1件に同意するとともに、水道事業会計における継続費精算の報告を受けました。

9月8日の本会議は、サンデー議会として開催され、10人の議員が一般質問を行い、市長、選挙管理委員会委員長並びに教育長に所信を質しました。

最終日の本会議では、付託議案の審査結果について、各委員長から報告の後、市長提出の議案15件を原案のとおり可決・認定しました。最後に追加議案として、市長提出の議案1件を原案のとおり可決し閉会しました。

審議された議案とその結果

第541回定例会市長提出議案

議案番号	件名	結果	参照
議第36号	令和5年度上山市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	11ページ
議第37号 ～42号	令和5年度上山市国民健康保険特別会計ほか5特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	11ページ
議第43号	令和5年度上山市水道事業会計決算の認定について	認定	11ページ
議第44号	令和5年度上山市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決 認定	11ページ
議第45号	令和6年度上山市一般会計補正予算（第2号）	原案可決	10ページ
議第46号	令和6年度上山市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	10ページ
議第47号	令和6年度上山市産業団地整備事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	10ページ
議第48号	上山市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	9ページ
議第49号	上山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	9ページ
議第50号	かみのやま温泉インター産業団地第2区域造成第1工区工事請負契約の締結について	同意	3ページ
議第51号	山形県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	原案可決	9ページ
議第52号	令和6年度一般会計補正予算（第3号）〈追加議案〉	原案可決	14ページ

同意第3号	上山市教育委員会教育長の任命について	同意	3ページ
同意第4号	上山市教育委員会委員の任命について	同意	3ページ
報告第8号	上山市水道事業会計継続費精算報告について 〔令和5年度において、上生居地区で令和4年度から実施している生居加圧ポンプ場電気設備更新工事が完了したことによる継続費精算報告〕		

### 契約議案

9月4日の本会議で、次の契約議案1件に同意しました。

**かみのやま温泉インター産業団地第2区域造成第1工区工事請負契約の締結**

契約の目的 かみのやま温泉インター産業団地第2区域造成第1工区工事

契約の方法 条件付き一般競争入札

契約金額 4億2350万円

契約の相手方 上山市美咲町二丁目1番95号  
羽陽建設株式会社  
代表取締役 堀川 裕志

工期 令和6年9月5日から  
令和7年12月12日まで

### 人事

(敬称略)

**同意した人事案件**

上山市教育委員会教育長

加藤 洋一 (河崎)

(任期 令和6年10月10日から3年間)

上山市教育委員会委員

木村 佳代子 (原 口)

(任期 令和6年10月25日から4年間)

## 市政に対する一般質問

一般質問の動画はこちらのQRコードからご覧いただけます

### 農業支援基金の創設



守岡 等 議員

全国的に農業の担い手が減少する中、国は食糧自給率が12%まで低下すると試算しています。担い手不足の理由について、国の食料・農業・農村政策審議会基本法検証部会のある委員は「若い人がなぜ農業を継がないかといえば、農業で生活が成り立たないからだ」と述べています。そこで、本市の農家の経営安定を図り、担い手を増やしていくために、農業支援基金制度を創設すべきと考えますが市長のご所見を伺います。

**市長** 稲作農家をはじめとする農業者への機械等の購入や経営の安定化に対し、市単独の補助、収入保険新規加入者への補助など、様々な支援を行っています。ご提案の基金制度については、これらの補助事業の財源として活用されており、財源確保の違いに過ぎないことから、創設する考えはありません。

### 農村RMOの設立支援

農村RMO（地域運営組織）とは過疎化が進む中山間地域での農地保全や集落機能の維持・強化を担う目的で、地域住民を中心に設立されるものです。県内では酒田市の2地区で取組が始められています。そこで、本市でも成功事例の紹介や団体・企業との連携講習会などを行い、農村RMOの設立支援を行うべきと考えますが市長のご所見を伺います。

**市長** 農地を保全する組織のほか、地域計画における話し合い等において、農村RMOに関する情報を提供しながら、地域の意向に沿った支援を行うてまいります。

このほか、田んぼダムの導入支援についても質問しました。



中山間地域での稲刈りの様子

# 市政に対する一般質問



一般質問の動画はこちらのQRコードからご覧いただけます

## 利用者の声に寄り添う 婦人の家の今後の運用



谷江正照 議員

働く婦人の家は市内の働く婦人及び勤労家庭の主婦が余暇を利用して必要な知識や技能を学ぶとともに趣味や文化教養を高めるための拠点として、国及び県の補助を受け昭和56年に建設された施設で、設置エリアは緊急急傾斜地崩壊対策事業も行われ、耐震性にも問題はありません。令和元年6月に策定した上山市公共施設等総合管理計画の実施計画で、跡地の有効活用を含めて廃止を検討していく方針が示されました。

しかし、利用者からは廃止後、解体が決まるまでは運用の継続を求める声もありますので、その声に寄り添った運用を継続すべきと考えます。また、つながりつなげるいんどりのまちを掲げる振興計画の実現に寄与するため、本市で整備を進める駅東エリアの子育て世代の人々などが、居住地区にとらわれずに利用しやすい拠点となるようこの施設の名称を

変更して活用を進めるべきと考えますが市長のご所見を伺います。

**市長** 働く婦人の家につきましては、老朽化をはじめ、活断層への近接状況や土砂災害警戒の区域の指定状況における安全上の課題のほか、近隣に類似施設が新設されたことなどを踏まえ、上山市公共施設等総合管理計画の個別施設計画策定時に、運営委員会や利用者代表者会、議員各位にご説明し、一定のご理解をいただき、令和7年度末に廃止する計画としたものでありますので、新たな交流拠点施設として継続する考えはありません。

なお、利用者代表者会では、廃止後の代替施設として各地区公民館等の利用状況や間取りの資料などを提供させていただいているほか、令和6年度は公民館担当課が同席して、代替施設確保について寄り添った対応をさせていただいております。



長い間親しまれてきた働く婦人の家

## 就労家族など参加しやすい 介護事業の開催



川口宏美 議員

認知症の介護者の多くは50歳から60歳の就労者と、日中は家を空けることが難しい方など、認知症カフェや家族介護教室などの取組に参加できないのが現状です。そこで、介護する家族が認知症の症状に対応する際の不安軽減のため、働いている方や会場に参加できない方にも対応できるように夜間に認知症カフェや家族介護教室・相談会などをオンラインで開催するべきと考えますが、市長のご所見を伺います。

**市長** Web開催については、以前包括支援センターにおいて検討しましたが、当事者の相談者やカフェの参加者から要望がありませんでしたので、これまで開催していないと聞いております。今後も利用者などの要望を把握しながら、より利用していただけるような仕組みを開催団体と調整してまいります。

## かなひろいテスト導入で 認知症の早期発見

認知症は早い段階で医療機関を受診することで早期治療や発症を予防する可能性や、進行を遅らせることで車の運転をより長く続けられる可能性が出てきます。そこで、認知症を早期発見するため、初期症状をスクリーニングする「かなひろいテスト」を本市で開催している様々な介護予防事業で導入すべきと考えますが、市長のご所見を伺います。

**市長** 「かなひろいテスト」については、認知症を早期発見するための手法として確立されていないことから、導入する考えはありません。

このほか、幅広い年代を対象とした認知症対応コミュニケーション技術の学習についても質問しました。



市内認知症カフェの様子

# 市政に対する一般質問



一般質問の動画はこちらのQRコードからご覧いただけます



佐藤 昇 議員

## (仮称) 駅東パークタウン 整備の更なる周知

本市は旧蔵王食品跡地の民間建設会社による宅地開発に、多額の公費を投入して公園を作る計画を進めています。今ある長清水公園を縮小して住宅地の中に公園を整備する必要があります。今ある長清水公園を縮小して住宅地の中に公園を整備する必要があります。もっと違うことに予算を使うべきではないかなどの声もあります。そこで、(仮称) 駅東パークタウン整備事業の説明会を開催し、市民への説明と多くの意見を聴くための場を設けるべきと考えますが市長の所見を伺います。

**市長** 本事業は、これまで基本設計の段階から議会に示し、市民ワークショップなどでの率直な声を反映したうえで本事業の概要を公表しました。今後も様々な広報媒体を活用するほか、フリートークミーティング等、広報活動を積極的に展開して、ご意見などを参考に整備計画の充実

を図ってまいります。

## 旧勤労青少年ホーム等の 早急な解体を

旧市民プールと旧勤労青少年ホームは、その役割を終えて老朽化が進んでおります。多くの市民や来訪者が往来する場所であり、一日も早く解体し更地にすべきと考えます。また、環境的にも立地的にも非常に恵まれたこの場所を有効利用する方針を早期に策定すべきと考えますが、市長の所見を伺います。

**市長** 両施設の跡地活用につきましては、すでに検討を始めており、解体に向けて必要な調査を進めております。今後は活用方針の方向性が整い次第、市民にお示しするとともに、両施設の解体に取り組んでまいります。



旧勤労青少年ホームの体育館

## 将来まで継続できる 農業環境の整備を



長澤 長右衛門 議員

現在、稲作農家の経営を支援するため、農地賃貸料をはじめ農業用機械購入費等への助成を国・県、各自自治体で実施しており、農業経営には欠かせないものとなっております。本市では担い手の経営を支援するため認定新規就農者・認定農業者・集落営農組織を対象に各種支援を実施しておりますが、他の自治体と比べ稲作農家への補助事業が少ない上、補助額の上限が低いとの意見が出ております。そこで本市独自の補助制度を実施し、農業活性化を図るべきと考えますが市長の見解を伺います。

**市長** 現在、地域計画の策定に向けて、農業者や関係者と話し合いを進めているところであり、農地を集積・集約するには、水稲等の土地利用型作物への重点的な支援が必要と認識していますので、市単独補助事業の見直しを考えております。

## 暑さに強い品種の 作付け等への支援

令和6年度のサクランボの作柄は、過去に例を見ない凶作となりました。その主な原因は、前年夏の猛暑の影響で双子果が増えたこと、5月から6月の高温に伴う小玉果や過熟果が発生したことなどが挙げられます。生産者への影響は大きく、離農が増加しかねない状況です。今後も高温等の異常気象が予想されることから、その対策として品種の植え替え、井戸掘削等への支援を強化すべきと考えますが市長の見解を伺います。

**市長** 井戸掘削や高温に強い品種・品目への植え替えについて、国・県の事業に上乘せした補助を実施しています。今後も安定的な生産基盤づくりを推進し、気候変動に強い果樹産地づくりに努めます。



コンバインを使った稲刈りの様子

# 市政に対する一般質問



一般質問の動画はこちらのQRコードからご覧いただけます

## 物価高騰対策のため 全市民への商品券配布を



川口 豊 議員

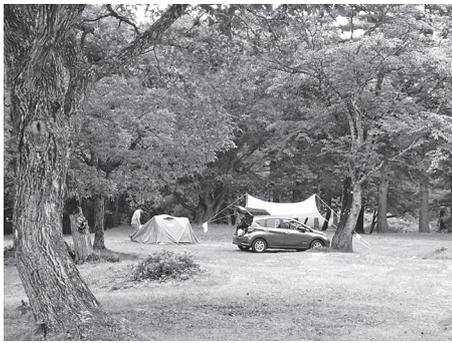
食料品を中心に物価高騰が続いている中、市民はもとより市内の飲食店をはじめとする商業関係者は価格転嫁等の対応に苦慮しています。報道によると、10月から食料品を中心に多くの品目の値上げ情報が出ています。そこで、使用期間を本年12月の1カ月限定した紙ベースの商品券を全市民に配付する緊急的な支援を実施すべきであると考えますが、市長のご所見を伺います。

**市長** 本市では近い将来の決済手段の主流になり得るキャッシュレス決済に速やかに移行していくことを目的としてポイント還元事業を進めてきましたので、紙による「商品券」の配付は考えておりません。新たな物価高騰対策については、国・県の経済対策の方針や本市の経済状況を見極めながら判断してまいります。

## 蔵王坊平野営場の 利用料金見直しを

現在、蔵王坊平野営場の利用料金は、1泊利用の場合は一人350円、日帰り利用の場合は一人60円となっています。この料金は平成10年に設定されたもので、25年以上経過しています。場内の設備は十分整っており、施設に見合った料金に見直すべきと考えます。その上で増収分を財源に整備を進め、更なる利便性の向上を図るべきであると考えますが、市長のご所見を伺います。

**市長** 昨今の物価高騰による施設管理費増加への対応や快適な利用環境の整備充実といった観点から利用料金の見直しは必要だと認識しています。新たな料金は戦略的な観光振興につながるよう地域の関係者と協議をしながら定めてまいります。



蔵王坊平野営場のさらなる整備を

## 市庁舎屋上などへ 太陽光パネル設置を



川崎 朋巳 議員

本市は令和4年度に2050年度までに二酸化炭素の排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」への挑戦を表明し、これまで公共施設への太陽光パネル設置を進めてきました。市庁舎屋上や市役所敷地内には未だ設置されていません。これを設置することで長期的な二酸化炭素の排出削減の効果に加え、既に設置している非常用発電装置のみで対応する場合と比べ、災害時の非常用電源の安定運用にもつながります。

**市長** 令和5年度に実施した公共施設再生可能エネルギー設備導入可能性調査により、市役所屋上等への太陽光パネル設置については効果が見込まれることから設置する考えです。

また、市役所敷地内には未だ設置されていません。これを設置することで長期的な二酸化炭素の排出削減の効果に加え、既に設置している非常用発電装置のみで対応する場合と比べ、災害時の非常用電源の安定運用にもつながります。

## 長期未着手都市計画道路 への早期の判断を

本市における都市計画道路は東北中央自動車道を含む合計20の路線があります。しかし、そのうち8路線が長期未着手となっており、最も古いものの計画決定年度は昭和39年であり、実に60年が経過しています。そこで、社会情勢の変化に伴い計画の継続や改廃を含めた見直しの判断をすべきと考えますが、市長のご所見を伺います。

**市長** 8路線については、地域の実情や社会情勢の変化に応じた計画とするため、県などの関係機関と協力し課題の整理を進めており、引き続き必要性及び実現性の総合的な評価をもとに、各路線における計画の継続又は廃止など、今後の方向性を定めてまいります。



市役所の庁舎にも太陽光パネルの設置を

# 市政に対する一般質問



一般質問の動画はこちらのQRコードからご覧いただけます



小松正和 議員

## 果樹生産における高温障害対策への支援

近年、異常気象により農作物の高温障害が米や果樹などに深刻な影響を及ぼしています。本市のサクランボにおいても特に今年は双子果やうるみなどにより収穫量が激減し、果樹農家は大きな打撃を受けました。最近の報道によれば、県産サクランボの収穫量は9000トンを下回るとの見通しも示されました。サクランボも含め果樹の収穫量の減少は本市の経済にも大きな影響を及ぼす可能性があります。その支援が今こそ必要であると考えます。

現在、高温障害の対策については、様々な取組が行われようとしておりますが、ある程度の年月がかかると思われざるを得ません。

そこで、短期的な高温障害対策として、遮光シートや遮光塗装に対する助成を行うべきと考えます。本格的な対策がとられるまでの間、生産者を守っていくことが必要であり、

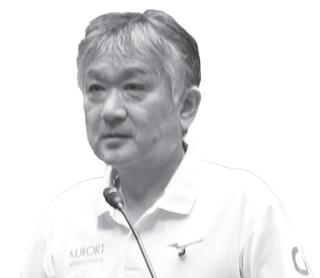
導入しやすい方法に対して支援すべきであると考えます。このままの状況が続けば農業の継続を断念する危険があります。本市もできる限り早く高温障害に対する取組への支援を打ち出し、農家の収入減を抑え、不安を払拭する必要があると考えますが、市長のご所見を伺います。

**市長** 遮光シートは、サクランボの高温障害対策に有効かつ取り入れやすい手段と認識しております。現在県において、次期作対策の一環として導入補助に向けた検討がなされておりますので、県の動きに合わせて本市も対応を進めてまいります。なお、遮光塗装は、塗料の飛散により果実に与える影響が懸念され、導入可能な園地が限定的になるなどの課題があることから、支援についてはさらなる検証が必要と認識しております。



ドローンによる遮光塗料の塗布

## 郷土愛と誇りを育むために



棚井裕一 議員

本市に住み続け、住んで楽しいまちにするためには、私たち市民自らが郷土を理解し、主体的にまちづくりに取り組む市民の輪を広げることが重要と考えます。そこで小中学校の給食の時間等に「かみのやま人物記」や各界で多大な功績をあげた本市出身の方々を動画や音声の番組として紹介すべきと考えます。上山の宝を知ることで自分に自信を持ち、郷土愛と誇りを育む一助になると考えますが教育長のご所見を伺います。

**教育長** 本市の次代を担う小中学生が、郷土の偉人などの理解を深めることは、生き方を考え、未来に向かって夢を持つことにつながり、ご指摘のとおりと考えます。現時点で番組の作成や給食時間の活用への考えはありませんが、これらについての手段や方法は、学校と連携し、様々な視点から調査研究してまいります。

## 世代別の主権者教育で積極的な啓発を

次世代を担う子どもたちが、自ら考え積極的に社会の形成とかわる力を身に付けることで、18歳になり選挙権を得た際に主体的にまちづくりに関わる人格が形成されると考えられます。そのために世代別の主権者教育を実施し、さらなる啓発を行うべきと考えますが選挙管理委員会委員長のご所見を伺います。

**選挙管理委員会委員長** 主権者教育は、選挙における投票行為に直接結びつく重要なものと認識しております。これまで高校2年生等を対象に出前講座、小学6年生、中学3年生にパンフレットを配布してきました。今後は、出前講座をメニュー化するなど、関係機関と連携し対応してまいります。



さらなる活用が望まれる副読本かみのやま人物記

# 市政に対する一般質問



一般質問の動画はこちらのQRコードからご覧いただけます

## パートナーシップ宣誓 制度の導入



尾形 みち子 議員

第8次上山市振興計画の中で多様性を認め合う社会の実現への目標として多様性を尊重した社会の環境づくりと意識の醸成があげられています。先頃、あるLGBTQ(性的マイノリティ)の方とお会いする機会がありました。その方は社会での理解が広まっていないことで、家族や職場、周囲の人たちから受け入れられないのではないかなど不安を抱えており、悩みを打ち明けられずにいるとのことでした。カップルになつてから5年ですが、まだそれぞれの家族に二人の関係を説明していないとのことでした。

パートナーシップ宣誓制度は、性的マイノリティのカップルも婚姻に準じた関係であると公的に認め、証明書を発行するもので、生きづらさや生活全般の差別・偏見の解消の一助になるのではと考えます。そこで本制度に係る条例を制定すべきと考

えますが市長のご所見を伺います。

**市長** 多様性を認めあう社会の実現については、第8次上山市振興計画の基本施策において、意識の向上などを図ることとしており、具体的な取組は、現在策定中の「男女共同参画・性の多様性理解増進に関する計画」においてお示しします。

パートナーシップ宣誓制度は既に県が導入しており、本市独自で制度を導入する際は、県・市で制度が重複することが課題となります。また、制度を活用する方にとっては、宣誓することで利用可能となるサービスを増やすことが重要であると考えます。制度の導入については、今後の計画策定において外部委員のご意見等も伺った上で判断してまいります。

このほか、LGBTQへの理解を深める各種情報の提供についても質問しました。



パートナーシップ宣誓制度に係る条例の制定を

## より情報

近隣市町に足を運んでみてはいかがでしょうか。

### 中山町

#### 中山町初市

日時 令和7年1月14日(火)  
午前10時30分～  
場所 中山町いずみ ひまわり温泉ゆ・らら前  
内容 商売繁盛を願い江戸時代から続く伝統行事「初市」  
問合せ 中山町観光協会事務局  
TEL(662) 2114

### 山辺町

#### 第14回やまのべまるごとフェスティバル

日時 令和6年11月3日(日・祝)  
午前9時30分～午後3時30分  
場所 山辺町中央公園及びその周辺  
内容 山辺町の特産品販売や友好都市日立市からの特別出展、ステージイベントなど内容が盛りだくさんです。  
問合せ 山辺町商工会  
TEL(664) 5939

### 山形市

#### 蔵王樹氷まつり

期間 令和6年12月下旬～令和7年2月下旬  
場所 蔵王温泉スキー場内  
内容 樹氷のライトアップなどが行われます。  
問合せ 山形市観光戦略課  
TEL(641) 1212  
(内線850)

# 常 任 委 員 会

## 総務文教

課税免除の要件を3年間延長し過疎地域の持続的発展を支援

委員会では、付託された議案1件及び請願1件、継続審査としていた請願1件について審査しました。

過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正

## 産業厚生

市道弁天8号線道路改良工事を調査

委員会では、付託された議案2件及び継続審査としていた請願1件について審査しました。

国民健康保険条例の一部改正

健康保険法施行令の一部改正により、被保険者証が廃止されることに伴い、罰則について定める規定の一部を改めるものです。



過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法第24条の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の一部改正に伴い、課税免除の要件について、令和9年3月31日まで3年間延長するものです。

以上、議案1件は原案のとおり可決しました。

『治安維持法犠牲者国家賠償法

山形県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更

被保険者証等が廃止されることに伴い、関係市町村で行う事務について定める規定のうち「被保険者証及び資格証明書」を「資格確認書等」に改めるものです。

以上、議案2件は原案のとおり可決しました

『健康保険証を廃止せず存続を求める国への意見書採択に関する件』の請願は、引き続き継続審査となりました。

そのほか、市道弁天8号線道路改良工事、市道矢来長清水線の舗装



市道矢来長清水線の舗装補修工事を調査

補修工事、公共下水道マンホール蓋改築工事の現地調査と所管する事務の調査を行いました。

(仮称)の制定促進を国に求める意見書の提出に関する件』の請願は継続審査となり、継続審査としていた『沖縄の自己決定権を尊重し沖縄県との十分な対話で基地問題の解決に臨むことを国に求める意見書に関する件』の請願は引き続き継続審査となりました。

そのほか、所管する事務の調査を行いました。

### 請願の審査結果

件名	請願者	結果
治安維持法犠牲者国家賠償法（仮称）の制定促進を国に求める意見書の提出に関する件（請願第3号）	上山市細谷701-1 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 山形県本部副会長 上山支部長 菊池 喜英	継続審査
沖縄の自己決定権を尊重し沖縄県との十分な対話で基地問題の解決に臨むことを国に求める意見書に関する件（請願第1号）	鶴岡市水沢字行司免43-13 沖縄と応答する会@山形 代表 漆 山 ひとみ	継続審査
健康保険証を廃止せず存続を求める国への意見書採択に関する件（請願第2号）	山形市飯田西1-2-30 山形県民主医療機関連合会気付 山形県社会保障推進協議会 会長 高木 紘一	継続審査

# 予算特別委員会

## 低所得世帯等の灯油購入費等助成金を増額

委員会では、付託された議案3件について審査しました。

### 一般会計補正予算(第2号)

7100万円を追加し、予算の総額を164億4800万円とするものです。

補正の主なもの

- 市内の温泉配湯管修繕費等への使途を希望される市民の方からの指定寄附金について今後の充当に備えて財政調整基金へ積み立てる積立金

- 老人福祉センター寿荘の擁壁ブロツク等の修繕工事費相当額を交付する補助金の増額

- 灯油購入費等助成事業費について当初予算に計上した助成額に1世帯あたり5000円を上乗せして助成するための扶助費の増額

- 須刈田地区水道組合が実施する飲用水共同給水施設の配水管等の凍結防止工事に対する補助金

- 学びの多様化学校での教育相談活動や学習支援活動を行う教育支援センターの備品購入費

- 学びの多様化学校のプレオープンスクールを11月に開催するための経費及び学習指導要領に対応した教材備品等を整備するために要する経費

- 農林漁業天災対策資金利子補給について、令和6年度から令和10年度までの期間で、融資総額200

万円に対して年率1・45%以内の割合で計算した額を限度とする債務負担行為

- 学校給食センター維持管理運営包括業務について、令和6年度から令和11年度までの委託期間で、6億2000万円を限度額とする債務負担行為

### 介護保険特別会計補正予算(第1号)

2700万円を追加し、予算の総額を41億3700万円とするものです。

### 産業団地整備事業特別会計補正予算(第1号)

8346万円を追加し、予算の総額を6億9146万円とするものです。

以上、議案3件は、原案のとおり可決しました。

## 質疑

委員会の審査の際に行われた質疑の主なものは、次のとおりです。

### 一般会計

**委員** 令和6年度から令和10年度まで実施される利子補給の対象者は、令和5年度の凍霜害による融資を受けた方か。また、今年度の高温障害で融資を受けた方も対象に含まれるのか。

**農林夢づくり課長** 対象者は令和5年度の凍霜害にあわれた方で、条件に該当する方となります。

## トピックス



季節の食材を使った「紅干柿おこわ」

## 実りの秋旬の食べ物で健やかに

「食欲の秋」「実りの秋」と言われるように、秋はくだものをはじめキノコや根菜類が店先をにぎやかにするだけでなく、親戚や知人からお裾分けを頂くこともあるのではないのでしょうか。

特に秋のくだものは種類も多く、収穫時期になると市内の観光農園はたいへん賑わいます。くだものには、抗酸化作用のあるビタミンCやカロテンなどを多く含んでいるものもあって、食べることで免疫力を上げる効果が期待できます。

また、旬の食べ物は体に良いと言われますが、例えば、夏にとれる食べ物には体を冷やし、冬の食べ物には体を温めるので、旬を食べることににより季節に合った体に整えることができるとされます。厳しい冬を健やかに過ごすために積極的に旬の食べ物を献立に取り入れてはいかがでしょうか。(尾形)

# 決算特別委員会

## 各会計の決算状況

会計別	歳入（収入）	歳出（支出）	差引	
一般会計	211億8374万2214円	199億9741万1454円	11億8633万760円	
国民健康保険特別会計	36億7652万1257円	36億155万2661円	7496万8596円	
農業集落排水事業特別会計	1億5807万1302円	1億4051万9888円	1755万1414円	
介護保険特別会計	39億8652万9547円	38億9168万7153円	9484万2394円	
浄化槽事業特別会計	1833万1691円	1495万1287円	338万404円	
後期高齢者医療特別会計	4億7075万7733円	4億7020万3324円	55万4409円	
産業団地整備事業特別会計	4億1704万7474円	4億1700万1474円	4万6000円	
計	299億1100万1218円	285億3332万7241円	13億7767万3977円	
水道事業会計	収益的	7億9174万1544円	7億3346万7470円	5827万4074円
	資本的	1億640万4500円	3億5272万9712円	△2億4632万5212円
下水道事業会計	収益的	10億8202万4166円	9億5805万5593円	1億2396万8573円
	資本的	4億1071万9937円	7億7700万3828円	△3億6628万3891円

令和5年度の一般会計、各特別会計、水道事業会計及び下水道事業会計の各歳入歳出決算の認定について慎重に審査を行い、9議案全てを認定しました。  
各会計の決算状況は表のとおりです。

## 9会計を認定

※水道事業会計の不足分は、過年度分の損益勘定留保資金により補てん

※下水道事業会計の不足分は、過年度分及び当年度分の損益勘定留保資金並びに減債積立金の取崩により補てん

## 地方債（市の借金）

区分	令和5年度末残高
一般会計	122億9875万3千円
農業集落排水事業特別会計	8億4070万2千円
浄化槽事業特別会計	5858万4千円
産業団地整備事業特別会計	5億3012万0千円
水道事業会計	15億9080万8千円
下水道事業会計	59億3004万3千円
計	212億4901万0千円

市民1人当たり約76万2千円（対前年度比2万円の減）

## 積立基金（市の貯金）

区分	令和5年度末残高
財政調整基金	16億1019万1千円
国民健康保険基金	10億6164万8千円
減債基金	1億2819万4千円
介護給付費準備基金	5億5927万5千円
企業立地促進基金	9652万0千円
ふるさと納税基金	10億1543万9千円
公共施設等保全整備基金	5億3032万2千円
森林環境譲与税基金	2244万0千円
新型コロナウイルス感染症対策金融支援基金	1928万4千円
計	50億4331万3千円

市民1人当たり約18万1千円（対前年度比1万3千円の増）

市の貯金である積立基金の残高は約50億4千万円で、前年度より約2億7千万円の増となっています。市の借金である地方債の残高は約212億5千万円で、前年度より約9億8千万円の減となっています。市民1人当たりで計算すると貯金が約18万1千円で前年度より約1万3千円の増、借金は約76万2千円で前年度より約2万円の減となっています。  
※人口は令和6年3月31日の2万7893人

## 監査委員の審査意見

一般会計は、歳入歳出差引額で黒字決算となった。

歳入歳出ともに前年度より増加しており、主に、物価高騰対策のための国庫支出金等の歳入の増加と、体育・学校施設のZEB化事業等の歳出の増加によるものである。市税は、収入額、収入率ともに前年度を上回っている。更に適切な債権管理と未収金の解消に向けた取組を継続されたい。また、ふるさと納税については、今後も本市の魅力を発信しながら取組を推進されたい。市債の年度末現在高は前年度より減少しており、引き続き、計画的な管理に努められたい。

特別会計は、6会計で、国民健康保険特別会計では、保険給付費が増加した。引き続き市民の健康づくりを支援し、医療費抑制に努められたい。介護保険特別会計では、施設介護サービス等の給付が増加した。介護計画に基づいた効果的な介護予防事業の実施に努められたい。

水道事業会計は、当年度純利益は前年度より減少しているが、有収率は上昇している。水道ビジョンに基づき、災害に強い安全・安心な水道環境及び持続可能な健全経営の確立に向けて取り組まれたい。

下水道事業会計は、当年度は前年度より増収増益となったが、人口減少により下水道使用料の増収は見込めないことが想定される。一層の効率的で健全な経営に努められたい。

# 決算特別委員会

## 質疑

委員会の審査の際に行われた質疑の主なものは、次のとおりです。

### 一般会計

**委員** ふるさと納税について、全国的な寄附額の伸び率に比べて、本市が伸び悩んだ要因は。

**観光・ブランド推進課長** 気候の影響等により、サクランボなど人気の返礼品を例年よりも提供できなかったためです。

**委員** 職員の育成について、これまでで官公庁等との相互人事交流などを

行ってきたが、民間との人事交流もすすめるべきと考えるが。

**市長** 民間からの要請と職員の要望があれば、実施について検討してまいります。

**委員** 避難行動要支援者新規登録者数が目標を上回り努力が見られるが、地区や自主防災会などの避難協力者との連携体制は整っているのか。

**庶務課長** 自主防災会や民生委員の協力のもと登録が伸びていますので、今後も丁寧な説明しながら体制づくりを進めてまいります。

**委員** 自主防災組織等での防災講座等の開催実績は13件であるが、近年、開催する地区に偏りはないのか。

**庶務課長** 直近3年の開催状況は、3年連続が4件、隔年開催が2件等となっております。新規申請も5件となっておりますので、更に周知に努めてまいります。

**委員** 令和5年度からカミダスケの移住施策を行っているがその実績は。

**建設課長** 5事業者の協力で11名が参加しています。そのうち4名が現在も受入れ事業者と継続して連絡を取り合っている状況ですので、継続して支援してまいります。

**委員** 各種証明書のコンビニ交付を導入して約1年になるが、窓口の混雑は緩和されているか。

**市民生活課長** コンビニ交付の利用率は証明書によっても異なりますが高いいものでは利用率が約50%になっており、証明書交付窓口の混雑は以前より緩和されています。

**委員** 総合子どもセンターめぐりの利用者数が目標に届かなかった要因と、今後の対策は。

**子ども子育て課長** 周辺自治体に類似施設が新たに整備されたことなどによるもので、引き続き、周辺商店街やクアオルト事業等と連携し、利用者数の拡大に努めてまいります。

**委員** 福祉ボランティア団体の活動内容は。また減少傾向にある理由は。

**福祉課長** 活動内容は視覚障がい者のための市報の言語化や高齢者向けの配食のほか、活動は多岐にわたります。減少の理由は主に高齢化で、中心となる役員がやめることで活動休止となるケースが多いようです。

**委員** 健康ポイント事業について、継続率と医療費削減効果の実績は。

**健康推進課長** 令和5年度の登録者数は1428名で継続率は88・4%でした。医療費は、令和4年度まで



市役所1階に設置された端末の操作説明の様子

の実績として、3年間継続した方で約8万2000円減額となったほか、全体として削減効果が見られます。

**委員** 特定健診受診者でBMI25以上の方の割合が29%で、目標より高くなっている要因と対策は。

**健康推進課長** 50歳代男性の割合が高い状況で、平均値を押し上げているためです。県の平均値は下回っていますが、該当者に生活習慣病予防の取組への参加を促してまいります。

**委員** 市内在住高校生の市内企業就職率が前年より高くなった要因は。

**商工課長** 商工会やハローワーク等と連携し、合同企業説明会を開催したことなどが良い結果に結びついたものと考えます。



松山地区での防災出前講座の様子

# 決算特別委員会

**委員** みどり環境税における市産材の活用、普及啓発等の実績は。

**農林夢づくり課長** 市内の保育園において森の教室で木工クラフト事業が行われたほか、市産材ふれあい事業として地域住民とベンチの制作を行いました。

**委員** 中心商店街賑わい創出支援事業や中心市街地空き店舗等リノベーション支援事業等の実績は。

**商工課長** 賑わい創出支援は8件、空き店舗等リノベーション支援は6件、創業支援は5件となっております。

**委員** 来市したインバウンド数が目標値を大きく上回ったが、影響は。



ファサードが改修された店舗

**観光・ブランド推進課長** インバウンド数の増加により、コロナ禍後の市内観光業界へ活気をもたらし、宿泊や購買などで市内経済にも好影響をもたらしたと感じています。

**委員** 令和5年度に住宅セーフティネット制度を利用して市営住宅入居者が民間賃貸住宅に組み替えした件数は。

**建設課長** 民間賃貸住宅に1件、空きが出た金生住宅に1件の計2件の組み替えがありました。

**委員** ファサード改修支援等の活用により景観に対する意識が少しずつ浸透してきているが、景観ガイドライン策定の取組や要望はあるのか。

**建設課長** 改修支援のほか景観まち歩きによる啓発を図っていますが取組等には至っていない状況であり、今後も支援を継続してまいります。

**委員** 運動が好きな市民の割合が高まらない要因は。

**生涯学習課長** コロナ禍でスポーツに触れる機会が減少したことにより、スポーツに対する意識が薄れたことや、余暇の過ごし方の多様化も原因ではないかと分析しています。

**委員** 「休日の部活動の段階的な地域移行」について、どのような方針

になっているか。

**生涯学習課長** 令和8年度までに休日の部活動地域移行を進めてまいります。

**委員** 中学校図書館の年間の貸し出し冊数が一人平均12冊と目標の18冊を下回った要因は。

**教育企画課長** 中学校では読書の時間がとりにくく、受験勉強が中心となっています。また、電子化の影響や、各学校の取組などで貸出冊数に違いが生じます。

## 国民健康保険特別会計

**委員** 特定健康診査受診率が49%と昨年より2%アップした要因は。

**健康推進課長** 令和5年度は県のモデル事業として、医療機関において健診項目を満たす情報がある方を健診したもののみを集計に加える事業に取り組んだためです。

## 農業集落排水事業特別会計

**委員** 宮川2処理施設の維持管理適正化計画策定の進捗状況と内容は。

**上下水道課長** 令和7年度策定予定ですが、施設の老朽化と地域の人口減少の課題解決に向け、設備の維持管理のほか、宮川処理区との将来の再編・集約等の可能性を検討してまいります。

## 水道事業特別会計

**委員** 経常収支について、今後の見通しは決して楽観視できるものではないと感じる。その原因と今後の取組は。

**上下水道課長** 水道の約98%以上が自己水源でないことも原因の一つと考えていますが、給水原価をできるだけ上げないような取組を進めてまいります。



宮川2処理区農業集落排水処理施設

## ◆追加議案◆

### サクラノボ高温被害 緊急支援事業の実施 に向けて予算措置

9月24日の本会議で次の議案1件を原案のとおり可決しました。

#### 一般会計補正予算（第3号）

2900万円を追加し、予算の総額を164億7700万円とするものです。

補正の主なもの

- ・サクラノボ高温被害緊急支援事業として、次期作の高温対策に必要な設備・資材の導入を支援する補助金
- ・雪庇防止板が破損したアピヤント・Kの自由通路屋根の修繕に向けた調査・設計及び落下防止の応急対策に係るJR東日本に対する負担金



## 本会議等の生中継をご覧になれます

～スマートフォンでも視聴できます～

上山市議会では、一般質問を含む本会議と特別委員会の会議の様子をインターネットで配信しています。

生中継や録画映像は、上山市議会のホームページから『インターネット議会中継』をクリックしてご覧ください。

【上山市議会ホームページ】

<https://www.city.kaminoyama.yamagata.jp/site/gikai>



上山市議会

検索

## 健全化判断比率・資金不足比率

9月4日開催の全議員協議会で、健全化判断比率と資金不足比率について報告されました。

健全化判断比率は、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの指標であり、このうち、いずれか1つでも早期健全化基準以上となった場合、財政健全化計画を策定し、議会の議決を受けることが義務づけられ、毎年度計画の実施状況を議会に報告し、公表することが必要となります。

また、将来負担比率を除く3つの指標値のいずれか1つでも財政再生基準以上となった場合、財政再生計画を策定し、財政健全化計画と同様の手続きが必要となるとともに、財政再生計画が総務大臣の同意を得られない場合、地方債の借り入れが制限されます。

資金不足比率は、公営企業において、経営健全化基準以上となった場合、経営健全化計画の策定が義務付けられ、議会の議決を経て、県や国に報告することになります。

### 健全化判断比率

実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、一般会計のほか全ての会計で赤字は発生しなかったため、比率は出ませんでした。

実質公債費比率については、5.9%で、令和4年度と比較して0.5ポイント改善しました。  
将来負担比率については、20.0%で、令和4年度と比較して16.0ポイント改善しました。

資金不足比率  
上山市の全ての公営企業において、資金不足額は生じませんでした。

■健全化判断比率

	令和4年度	令和5年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	13.64%	20.00%
連結実質赤字比率	—	—	18.64%	30.00%
実質公債費比率	6.4%	5.9%	25.0%	35.0%
将来負担比率	36.0%	20.0%	350.0%	

# “上山市を元気にする”政策提言

10月21日に、将来を見据えた活力あるまちづくりを目指すため、議会の総意として市長に政策提言を行い、令和7年度の予算編成や市政運営の施策として検討されるよう要望しました。

なお、提言の内容は次のとおりです。

- 1 事務事業の効率化について  
(1) 各事業のPDCAサイクルの再検証を進めることで評価機能を高め、速やかな事業の改廃を実施すること。  
(2) 専門的知識を備えた職員の育成に努めるとともに、適切な職員配置を行うこと。  
(3) 住民ニーズの多様化、高度化により職員の負担も増大していることから、DXのさらなる推進に努めること。
- 2 伝統的イベントの継承について  
(1) 市民の絆や地域コミュニティの維持がむずかしくなっている中で、郷土愛を育むためにも本市伝統のイベントが継続されるよう実施主体を積極的に支援し、本市の活性化を図ること。
- 3 公共交通の充実について  
(1) 市民、特に高齢者の移動を支援するために市内循環バスや市営予約制乗合タクシーの増便、路線拡充を行うなど更なる改善を図ること。
- 4 子育て支援策の充実について  
(1) 学校給食費については、全国の自治体において無償化への取組が広がっている。また、子育て環境は一段と厳しさを増しており、子育て支援策に遅れが生じることのないよう全額無償化もしくは全額無償化に向け一部無償化の検討を進めること。
- 5 健康増進について  
(1) 带状疱疹の予防接種については、国の専門家会議において定期接種に含める方針が了承されたことを受け、本市においては、接種対象年齢や助成額が先行している自治体と同等となるよう早急に検討を進めること。
- 6 持続可能な上山市の農業振興について  
(1) 燃料や飼料、肥料などの物価高騰による農家負担の軽減のため、機械や農業資材に対する補助制度の新設および現行制度の拡充を検討すること。  
(2) 現行の新規就農者支援をさらに充実させ、相談から、研修、農機具購入の手厚い補助など自己資金が少なくても就農できるように、一連のサポート体制を整備すること。
- 7 観光振興について  
(1) コロナ禍も一定の落ち着きをみせ、インバウンドも再び増加の傾向にあることから、観光振興計画を策定し、民間事業者と一体となり本市の観光振興に努めること。
- 8 市街地の安全確保について  
(1) 市街地における街路灯の劣化、特に道路への融雪剤の散布による腐食が懸念される状況にあることから、街路灯の一斉点検を行うとともに、対応が必要な街路灯については当該街路灯組合に対し早急に更新又は除去するよう必要な支援を行うなど強く働きかけること。
- 9 住環境および駅周辺整備について  
(1) JRかみのやま温泉駅およびその周辺開発にあたっては幅広い市民の声をくみ上げ、多くの市民が納得できるものにするこ  
(2) (仮称) 駅東パークタウンにより新築家屋等住環境の整備は進むと考えられるが、賃貸住宅やリフォーム、空き家の利活用について若者や子育て世帯が居住対象となるような住環境の整備を借り手と貸し手の両面から支援し、人口流出による社会減  
(3) JR茂吉記念館前駅の西側未整備地については、良好な立地条件を活用できるよう県有地も含めた土地利用の検討を早急に進めること。
- 10 教育環境の充実について  
(1) 上山市みらいの学校構想策定について、地域はもとより若者や子育て世代の意見を十分にヒアリングし進めること。  
(2) 教育環境をさらに充実させるため、基礎学力を含めた市内の学校間格差の解消に向けた検討を行うこと。  
(3) 部活動の地域移行の受け皿づくりを進め、将来にわたり安心して部活動が行える体制を整備すること。



山本市長に政策提言書を提出

# 高校生が議会を傍聴しました

9月13日、上山明新館高等学校普通科文科コース3年生103名のみなさんが、公民科教育の一環として、9月定例会決算特別委員会を傍聴しました。



今回初めて市議会の様子を見学しました。議会中はわかりやすい言葉を用いていて理解しやすいと感じました。また、上山市には、駅周辺のシャッター街の再開発を行い、そこから温泉街のさらなる活性化を実現し、市全体が賑わいのある観光地へと発展することを期待します。

上山明新館高校3年  
鈴木 柁 香さん



今回、上山市議会を傍聴し、政治が身近にあるものだと実感しました。議会を構成する議員と執行機関である行政が一丸となって上山市を良くしようとする姿を拝見し、次世代を担う者として、もっと社会に関する情報を集め、政治に参加しようと思えました。

上山明新館高校3年  
松下 みことさん

## 市議会を傍聴してみませんか

次の定例会は、  
11月29日から12月16日まで  
の予定です。

○名前などを書くだけで傍聴できます。  
○ぜひ気軽に足を運んでください。  
※詳しくは、議会事務局(☎672-1111内線251)までお問い合わせください。

## 編集後記

9月定例会のサンデー議会では多くの皆様から一般質問を傍聴いただきありがとうございました。10人の議員が質問に立ち、農業、まちづくり、生活上、介護・福祉、教育、シエンダーなど多彩な提案を行い、市執行部と議論を交わしました。

さらに、上山明新館高校の103人の生徒が授業の一環として決算特別委員会を傍聴しました。市の様々な事業に対する質疑の様子に触れ、実際の地方政治について学ぶことができたことでした。

市議会では今後も議会報告会やサンデー議会の開催など開かれた議会への取組を進めてまいります。

また、議会だよりも読みやすいものを目指し編集に努めますのでご愛読をよろしく願います。(守岡)